

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	NPO 法人パートナーシップオフィス		
事業名	川と海をつなげる「山形の海ごみカルタ」で問題解決へ！大学生による啓発ツール開発事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ型） 【テーマ：テルス(株) 川と海をつなぐ 美しい元気な山形づくり事業】		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	384,903 円
		うち助成金額	324,903 円
事業実施期間	令和 5年 9月 1日 から 令和 6年 2月 20日まで		

事業目的・実施内容	(事業目的)
	海ごみ問題の現状を幅広い世代の人に知ってもらうため、遊びながら、楽しく、気軽に学べるツールとして「山形の海ごみカルタ」を作り、庄内(酒田飽海地域)、最上地域の学童保育所に提供、普及啓発・情報発信に寄与する。カルタは山形県内の大学生を募り宿泊を伴うワークショップ(WS)で制作する。制作に関わった学生にとっても、自分事として考えるきっかけとなり、さらに自身が撮った写真や文言が絵札となり、目に見える形で活動の成果が残るため、参加学生の成長も期待できる。
	(実施内容)
	①プロジェクトの企画と調整 カルタ制作のための事前勉強会や素材集め、WSのための現地下見や関係者調整を行った。
	②大学生による、1泊2日のカルタ制作WSの実施 会場：遊佐町の海岸・しらい自然館 1日目：アイスブレイク、座学研修、カルタの写真集め及び海岸の清掃活動の実施。 2日目：海ごみ問題を啓発するカルタの試作とテストプレイ。
	③地域団体と連携したテストプレイ 三川町「みかわ秋まつり」にて小中高生とテストプレイを実施。改善点を吸い上げ改良した。
	④学童保育と連携したテストプレイ 酒田地域のがくほれんwith酒田と連携し、学童保育所に通う小学校生に協力してもらい、テストプレイを4回実施した。その都度、児童、指導員にヒアリングし改良した。
	⑤カルタの作成と配布 カルタセットを作成し、酒田市内25箇所、三川町1箇所、最上管内15箇所、庄内地域の教育関連施設3箇所へ配布した。



大学生による、1泊2日のカルタ制作WS
写真素材の収集と清掃活動



大学生による、1泊2日のカルタ制作WS
絵札、読み札を考えるワークショップ

事業の成果

【カルタを用いた啓発活動】

配布後、日常的に活用してもらい、継続的な啓発効果を狙う。酒田市内と最上地域の学童保育所、庄内地域の活動拠点へ配布した。施設の利用者延べ2173人への啓発効果があった。

【カルタ作成WSとテストプレイの運営】

カルタ作成WSには15名の参加があった。

【明倫学童クラブでかるた大会を実施】

事業終了後、海から遠く離れた新庄市の明倫学童クラブでかるた大会を開催した。

今後の展望

- ・ 自主開催する清掃活動に付随する学習ツール、アイスブレイクのツールとしての活用。
- ・ 次年度以降、さらなる普及に協賛いただけるのであれば、追加作成し全県へ配布するとともに、出張開催を企画する。



完成したイベント用大判かるた



完成した通常（カード）サイズのかるた



みかわ秋まつりでかるた大会を実施

団体概要

団体名 NPO法人パートナーシップオフィス

代表者 理事長 西村 修

ウェブ <http://npo-po.net>

協力 IVUSA山形・酒田クラブ / 三川町中高生ボランティアサークル来夢来人 / 美しいやまがたの海プラットフォーム / NPO 法人がくほれん with 酒田(はだしっこクラブ、きらめき・かがやきクラブ、わくわく・わかっこクラブ) / 若浜コミュニティセンター / 東北公益文科大学 SCOP、呉尚浩ゼミ、地域共創センター 防災・環境部会